

市の財政状況、地域要望などで意見交換

◇旧町単位で開催◇

移動行政懇話会

市では、北秋田市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う移動行政懇話会を12月16日から22日にかけて4地区で開催し、市の財政状況や周知事項などについてお知らせするとともに、市民からさまざまな意見や要望を伺いました。その概要をお知らせします。



▲ 4地区で開催された移動行政懇話会（阿仁地区会場）

4会場で約130人が
津谷市長らと意見交換

今年度の移動行政懇話会は、12月16日の阿仁地区会場を皮切りに始まり、参加者が市長や市の担当者と財政の現状や地域要望などについて意見交換しました。

懇話会は、市の現状や周知事項を説明するとともに、行政への意見・要望を伺う機会として毎年各地区で開催しているもので、4地区で市民約130人が参加しました。津谷市長は、市民病院の開院に向

けて準備を進めていることなどを説明した上で、「限られた財源の中で安心して暮らせるまちづくりを進めるために市民の皆さまと一緒に考えて考える大事な機会。忘れたくないご意見を」とあいさつ。

市からの報告では、担当職員が、行政改革の効果が徐々に現れている一方で、自主財源が少なく交付税も減少傾向にあるため、基金を取り崩しながら予算を組んでいる、といった苦しい財政事情を説明しました。

加えて、今後も人口の減少や市税の減少が予想されることから、行政単独ではなく市と市民が共働で取り組んでいくことが、これからのまちづくりに求められることを強調しました。

また、新たに始まる「北秋田市災害時要援護者避難支援制度」について説明。これは、災害時に一人暮らしの高齢者や障害者などが安全に避難したり円滑な救助活動を受けたりできるようにする支援制度で、「制度を円滑に運用するために

は、利用者の登録申請と、地域の理解が不可欠」と、登録申請などへの協力を求めました。

意見交換では、質疑を含め参加者から意見、要望が出されました。主な質問・意見とその回答は次のとおりです。

【質問が朱字】

■阿仁地区（12月16日）

▽学校給食費の未納も多いと聞くが、対策は。

阿仁と森吉地区では協力員制度を導入しているためスムーズに納入してもらっているが、鷹巣・合川地区では振り替え制度のため、残高がないと引き落としできないなど難儀している状態。未納者はごく一部の家庭であり、協力員制度を新たに導入することは難しい。家計が苦しいといった事情があるようだが、個別の督促で未納者の解消に努めたい。

▽公民館の荒瀬分館など6公民館が廃止されるようだが。

これまで、農林事業などで建設した施設を公民館として運営していた。それを条例上廃止するもので、施設がなくなるわけではない。

▽阿仁地区の活性化のために阿仁センターに部を一つ配置できないか。また、センター長の権限で活用

口を一本化したシステムをつくってほしい。

県から連絡があり次第対応したい。

▽自治会長会などに入っていない町内会等の場合、行政からの各種連絡が届かないケースがある。

自治会、町内会組織の実態を把握し対応したい。

▽市民病院は医師が足りないようだが、開業医や他の病院との連携で安心できる態勢を作ってほしい。

当初の計画どおり進んでいないのが現状だが、大学から派遣されている医師については留まってもらえるよう大学に働きかけたい。

また、開業医に当番制で来てもらうことも含めあらゆる方法で医師確保に努めたい。

▽高速インターネットは若い人にとってもまちづくりに不可欠。光回線の今後の整備計画は。

NTT事業として進んでいる地区以外の地域については、来年度から市が事業主体として段階的に整備を進める予定。

▽鷹巣中学校への通学路になっている奥羽線跨線橋が凍結するため、町内で融雪剤を撒いているが、融雪剤を配布してもらえないか。

状況により配布は可能なので連絡してほしい。

できる予算を確保できないか。

現状のセンター体制も厳しい財政状況を踏まえ、施設の有効活用など行革を進める中で実施した機構改革の結果。

▽確定申告会場が少なくなり、車を運転できない高齢者などに不便。職員数の減少などで、以前実施していたような会場設置ができなくなった。送迎バスの運行などで不便をかけないよう努めたい。

■合川地区（12月17日）

▽フレッツ光が来ている所とそうでない所があるようだ。

現在開通しているのは、NTTの第1次の計画範囲。それ以外の地区も、なるべく早く範囲を広げてもらえるよう働きかけたい。

▽地上デジタル放送について、私の自治会は共同受信という話だが、詳しく教えてほしい。

NHKと自治会などで受信環境を整えるNHK共聴という方法と、山間部等で地上デジタル放送の受信が困難な地区に、国や県、市町村などで受信環境を整える辺地共聴という方法がある。詳しくは、NHKか市教育委員会生涯学習課に相談してほしい。

▽合川地区の学校再編計画を1年でも早く進めてほしい。

学校耐震化診断の結果、米内沢小を前倒しで改築することになり、合川の再編計画を変更することになった。しかし、このままでは複式学級が3つになってしまう状況が生ずるので、できるだけ早く話を詰めていきたい。

▽遊休農地などを活用し共同での農産物の生産を進めるなどして雇用の場を広げるなど、人口減少を食い止める政策をしてはどうか。

手続上簡単ではないが、JAと連携して対策を考えていきたい。農業に対し、若い人たちが活躍できる道筋をつけていく事が重要であり、統合高校の中でも農業の位置づけを考えていかななくてはならないと考えている。

▽合川高校の校舎は残すのか。利用方法は。

昭和56年以降に建てられた部分を除き解体する。利活用については検討中だが、例えば発掘された遺跡出土品の保管や展示場所などに活用する方法もある。

■森吉地区（12月18日）

▽合併して市民の声が届きにくくなっている。市民の声を吸収する課を設置してはどうか。

市役所でも比較的余裕がある部署は、積極的に足を運んで、集落の

状況などを確認する必要があると思う。課の設置は考えていないが、困りごとなどがあつたら各地区の窓口センターに相談してほしい。

▽米内沢病院を縮小すると、今いる医師も離れていくのではないのか。病床を減らした場合、現在の入院患者はどこにいったらよいのか。

患者の立場が一番保障されるべき。米内沢病院の運営方法について早く結論を出したい。

▽市道石坂―大淵線は見通しが良いため、通行する車の速度も速く、追い越しも頻繁にある。集落の間だけでも、追い越しはみ出し規制をすることはできないか。

北秋田警察署に要望する。

■鷹巣地区（12月22日）

▽災害時支援制度は本人が市役所等に出向き登録することになっているが、障害者等の場合、難しいのではないのか。広報の仕方や申請方法を見直しては。

民生委員や自治会などと連携しよりよい方法を探りたい。

▽除排雪に対応できる市と県が窓